文武に全力、熱き心結集

駿台甲府小中高生が一丸となって、駿高野球部を応援（写真右上、同中央上）。運動会や体育祭では仲間と力を合わせて笑顔が広がった（同右中央、同中央下、同左）。〝兄貴分〟の駿高に倣い、早朝学習に励む駿中有志たち（同右下）

「愛情教育」を建学の精神に、駿台甲府中学校・高等学校（山口博伸校長）、駿台甲府小学校（上原雅志校長）の駿台グループは、生徒たちの「チャレンジング・スピリット」をはぐくみ、芯が強く豊かな人間性の育成に力を注いでいる。合言葉は「チーム駿台」。夏の全国高校野球県大会では、小中学生も先輩の応援に駆け付けて、小中高一丸となって熱き心を一つに重ね合わせた。小学生から高校生まで、「やるときはやる」の駿台スピリットをモットーに、「納得人生」を歩めるよう、高い志を胸に「普段力」の向上に努めている。

合言葉は「チーム駿台」 心と体鍛え〝学習体力〟

声の限りに応援。全力でぶつかり合う。歓喜にわく。満面の笑みで駆け寄る。わずかな差の敗戦に悔しがる。秋の風物詩の一つが体育祭や運動会だ。合言葉は「チーム駿台」。9月5日の中学校体育祭を皮切りに、仲間と手を取り合い、元気いっぱいに挑戦する駿台甲府小中高校生の姿が輝いた。

「生きていく上で一番大切なのは間違いなく『心身の健康』です」と山口博伸校長は話す。心は身体が弱っていたり、不安定だったりすると、簡単に後ろ向きな考えを繰り返すようになりがちだと指摘する。

仲間がパワーの源

「ポジティブな心は、元気な体があってのこと。高校生たちを見てきて感じるのは、大学受験などの進路開拓の上でも健全な心身は必要不可欠だということです。未来の自分のために、体にも十分な栄養を付ける。のが大切。そして『心と体』の次に大切なパワーの源は、間違いなく『良い仲間たち』です。体育祭や運動会はこれらを学び、はぐくむ最も大きな意味を持っています」と山口校長は説く。

友のもとへ掛け寄り、胴上げするクラスメートたち。勝っても負けても、充実感あふれた仲間たちの笑顔に、駿高の天野稜大体育祭実行委員長は「本当にうれしかったです。やるときはやるのが駿台の良さ。これで3年生は、大学受験へ向けて切り替えられます」と話す。

中学校体育祭でもひたむきな姿が目を引いた。成績発表に思わず男泣きしたのが、10年ぶりに優勝を飾った赤組の団長本多正弥さんだ。「優勝種目はわずか一つ、まさか優勝できるとは思っていませんでした。種目の途中で持病の腰を痛めてみんなに迷惑を掛けてしまったので、ほっとしました。3年生はもちろん、早朝から練習に出てきてくれた1、2年生のおかげ。涙が止まりませんでした」と振り返る。

また、体育祭直前の練習で骨折し、ベンチから仲間の勇姿を見守った桃組団長の長谷川浩也さんは、閉会式入場で仲間たちからエールを送られ、「言葉にできないほどうれしかったです」と目を細めた。

仲間、そして学年を超えた絆を深めた生徒たち。さらに、「チーム駿台」を象徴したのが、今夏の全国高校野球県大会だった。気温35度。真夏の青空の下、駿台甲府小中高校生が小瀬球場の3塁側スタンドから心を一つに、勝利への声援を送った。

パワー全開だった小学6年の女子たちは、初めての応援でしたが、逆転したときはとても感動しました」と笑顔を見せた。

「将来は駿高で甲子園を目指したいです」と先輩の後ろ姿にあこがれを抱いた男子も。児童会長の中込大地さんは「中高生たちと一緒に応援できて、一緒に頑張っているんだという気持ちがすごくうれしかった。『団結』をしているという感じで、本当に楽しかったです」と声を弾ませた。

小1～高3が交流

9月1日には今井キャンパスで避難訓練を行い、小学1年生から美術・デザイン科の高校3年生までの約850人が一堂に会した。山口校長は「さまざまな世代が混在するのが社会。幼き者やハンディキャップのある人たちに気遣いながら避難する。気配り、心配り、優しい心が育っています」と、小中高一貫教育の利点の一つを挙げた。

心身を鍛え、母校愛を育成し、友と切磋琢磨していく日々は日常にある。秋のメーンイベント終了後、高校3年生は大学受験へ向けた早朝学習をスタート。創立から今年30年目の節目を迎えたのが駿台甲府グループの「長男」となる高校だ。駿台甲府の精神でもある挑戦心は、時を超えて脈々と今に受け継がれている。

その一つが、女子ハンドボール部＝写真。自ら駿高男子ハンドボール部時代に、初のインターハイ出場を決めた坂本晴昭監督の下、同部は今年、悲願のインターハイ初出場を果たした。ハンドボールは7人制とはいえ、部員数は14人と少数精鋭。それでも一「みんなが頑張れば戦えると思ってきました」と部員は口をそろえる。

その自信の裏付けは、練習量の多さ。昨年、関東大会でベスト8に入りながら7年ぶりに出場したほか、国体少年女子の主軸チームとして12年ぶりの国体（10月・新潟）出場へとつながった。

その成果はインターハイ出場はもとより、春の全国高校選抜大会へ県勢として7年ぶりに出場したほか、元日を除く364日、休むことなく練習を重ねてきたという。

少数精鋭、全国舞台に挑む

高校女子ハンド部

強化を始めて3年目だが、強さの秘密は勝利への執念と仲間を思う気持ち。朝倉由貴主将は「けがをしていた仲間が国体の時期までになら復帰できると聞いて、何としても出場切符を取ろうと思いました。ともに頑張ってきた仲間と最後の大会は分けに戦いたいです」と笑顔を見せる。

4月に右足を骨折した奥山順子さんは「最後のチャンスを与えてくれてうれしかったです」と表情を和ませた。インターハイ開幕4日前に左足裏の腱を部分断裂した重信あかねさんは「練習も厳しくけがもして、嫌になったことの方が多かったけど、入る時にやると決めたから最後までやり通したいと思い頑張ってきました。仲間たちにも本当に助けられ、最後の大会は頑張りたいです」。

坂本監督は「今の女子部があるのは、強化を始める前に、純粋ハンドボールをやりたくて部をつくった先輩たちがいてからこそだ」ということを生徒たちには話しています。生徒たちはよく頑張っていますが、さらに感謝の気持ちを忘れずに精進して、伝統をつないでいってほしいですね」と話していた。

全国生物学コンテストで銅メダル 仲間との出会いに感激

高3・間下さん

目指せ農学博士―。駿台甲府高3年の間下大樹志さん（甲斐）＝写真＝は、第2回全国生物学コンテスト「生物チャレンジ2009」で銅メダルを獲得した。将来の科学者を育てるのを目的に、世界で約20年続く国際生物学オリンピックにもつながるコンテスト。全国の有名進学校からの挑戦者も多く、間下さんは「うれしかったのと同時に、将来の目標も定まってきました」と目を輝かせた。

同コンテストは国際生物学オリンピック日本委員会が主催。全国から約2700人が参加し、わずか80人しか挑めない第2次試験に山梨県勢としてはただ一人進んだ。8月下旬に、広島大会場に3泊4日で行われた第2次試験では、顕微鏡を使いコケなどを解剖。各種テーマに沿って実験試験に挑んだ。

畑で作物を育てていた祖父母のおかげで、生物はいつも身近にあった。一方で小学生のころに心引かれたのは鉱物学だったとも。生物学を心底「面白い！」と思ったのは約1年前。高校2年の選択科目で生物を選び、先輩教師でもある担任との出会いが生物学へとのめり込むきっかけだったという。

「授業中に資料をやり終えると、先生が僕に合った本を選んで『これを読んでみたら』と。読み進めるうちに『へぇ～』と思うことが多くて。小学生のころに不思議だなと思っていたことが徐々に解決していき、モヤッとしていたことがすっきりしました。生物学って面白いって思うようになりました」と笑顔を見せる。

担任教師からの的確なアドバイスに加え、県内外で開かれている生物学関連の各種講座などについての情報提供にも感謝する。

そんな情報の一つが今回のコンテスト。麗高（神戸市）や開成高、筑波大付属駒場高（東京）などの進学校の生徒たちが名を連ねたそうで、「生物の話が通じて、本当にうれしかったです。メールアドレスを交換して、今では情報交換もしています。受賞の喜びも感じるとともに、一番大きかったのは同じ志を持った仲間と出会えたことです。人は宝。同じ大学とともに学べるよう、まずは第一志望合格を目指して頑張ります」と表情を引き締めていた。

〈企画・制作〉山梨日日新聞社広告局

「チーム駿台」一丸となって愛情教育を実践します。

高校普通科 ※会場は駿台甲府高 塩部キャンパス

11月3日(祝) 進学説明会（対象:中学3年生・保護者）

11月14日(土) オープンキャンパス（対象:中学3年生・保護者）

12月13日(日) 入試説明会（対象:中学3年生・保護者）

高校美術デザイン科 ※会場は駿台甲府高 今井キャンパス

11月14日(土) 体験入学（対象:中学3年生）

12月17日(木)～23日(水・祝) 美術デザイン科展（山梨県立美術館 県民ギャラリー）

中学校 ※会場は駿台甲府中

10月10日(土) 駿中入試問題解説授業（対象:小学6年生）

入試日程

高校普通科・美術デザイン科	■推薦入試:2010年1月9日(土)	出願期間:2009年12月17日(木)～2010年1月5日(火)
	■一般入試:2010年2月11日(木・祝)	出願期間:2010年1月26日(火)～2月8日(月)
	■一般入試:2010年3月17日(水)	出願期間:2010年3月11日(木)～3月16日(火)
中学校	■推薦入試:2010年1月9日(土)	出願期間:2009年12月1日(火)～12月8日(火)
	■選抜入試:2010年1月16日(土)	出願期間:2010年1月12日(火)～1月14日(木)
小学校	■専願選考:2009年10月31日(土)	出願期間:2009年10月16日(金)～10月23日(金)
	■一般選考:2009年11月14日(土)	出願期間:2009年11月4日(水)～11月11日(水)

駿台甲府高等学校

普通科[塩部キャンパス] 〒400-0026 山梨県甲府市塩部2丁目8-1 TEL055-253-6211 FAX055-252-5395 http://www.sundai-kohs.ed.jp/

美術デザイン科[今井キャンパス] 〒400-0845 山梨県甲府市上今井町1279-2 TEL055-241-5311 FAX055-241-8304 http://www.sundai-kohs.ed.jp/bizyutsu/

駿台甲府中学校[今井キャンパス] 〒400-0845 山梨県甲府市上今井町884-1 TEL055-243-5200 FAX055-243-5202 http://www.sundai-kohs.ed.jp/junior/

駿台甲府小学校[今井キャンパス] 〒400-0845 山梨県甲府市上今井町884-1 TEL055-244-0411 FAX055-220-2838 http://www.sundai-kohs.ed.jp/elementary/